高千穂交易、サステナビリティ推進の指針として4つのマテリアリティを特定 ~ 人と地球に優しい社会の"創造"を目指して ~

高千穂交易株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:井出尊信、証券コード 2676)は、人と地球に優しい社会の創造を実現すべく、4つのサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)を特定しましたのでお知らせします。

当社は創業以来、企業理念である「創造」を原点に世界の先端技術商品を発掘し、お客様や社会に「安心・安全・快適」なソリューションを提供してきました。また、環境問題や社会課題、企業統治への対応を重要事項として捉え、豊かな未来と持続可能な社会の実現に努めています。こうした取り組みを加速させ、人と地球に優しい社会の"創造"を実現するため、当社グループにおけるサステナビリティ重要課題を特定しました。

【高千穂交易のマテリアリティ】

当社グループでは、2030 年度までに取り組むべき 4 つのサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)とそれらに紐づく 19 個の KSF(キーサスセスファクター)を重要度ごとに認識し、ステークホルダーの期待に応えるべく取組みを行っていきます。

環境	環境に配慮した持続 可能な社会の実現	生物多様性の保全	気候変動への対応自然災害への対応	環境保護とサブライチェーングリーンビジネスの創出
社会経済	優しさが溢れる社会 の実現	行政・業界団体との協力体制		安心安全快適なビジネス環境 暮らしに役立つ製品の提供 付加価値サービスの充実
社会人材	社員の自己実現と DEI推進		リスキリング活用 働く環境の向上(整備) DEI推進	社員エンゲージメントの向上 社内DX化の推進
ガバナンス	ガバナンス体制の 強化と透明性の向上	コンプライアンス意識の向上 経営の透明性の強化	人権尊重とサブライチェーン 経営陣の多様化	リスク対応力の強化
		高い	かなり高い	非常に高い

【マテリアリティ特定のプロセス】

人と地球に優しい社会の創造を実現するため、社会課題を整理し、当社の経営および事業とステークホルダーの重要度を両側面で確認した上で、ターゲットとなるマテリアリティを抽出しました。



今後は掲げた重要課題に対して設定した取り組むべき目標と KGI / KPI の達成に向けて、当社グループ 一丸となって取り組みを遂行してまいります。

当社のマテリアリティ詳細については下記をご覧ください。

〈マテリアリティ Web サイト〉

https://www.takachiho-kk.co.jp/corp/sustainability/materiality/

〈サステナビリティ Web サイト〉

https://www.takachiho-kk.co.jp/corp/sustainability/

■会社概要

名称 : 高千穂交易株式会社

住所 : 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 YOTSUYA TOWER 7F

URL: https://www.takachiho-kk.co.jp/

■取材依頼・お問合せ先

会社名 : 高千穂交易株式会社 担当 : 経営企画室 山下

電話 : 03-3355-1201

メール : webmst@takachiho-kk.co.jp